

平成24年3月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 平成24年3月9日午前10時

場 所 高浜市議事堂

議事日程

- 日程第1 議案第17号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第7回）
議案第18号 平成23年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）
議案第19号 平成23年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）
議案第20号 平成23年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）
議案第21号 平成23年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）
議案第22号 平成23年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第3回）
議案第23号 平成23年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）
議案第24号 平成23年度高浜市水道事業会計補正予算（第2回）
- 日程第2 議案第1号 住民基本台帳法の一部改正等に伴う関係条例の整備について
議案第2号 高浜市税条例の一部改正について
議案第3号 高浜市営住宅の設置及び管理に関する条例及び高浜市借上公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第4号 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
議案第5号 高浜市暴力団排除条例の制定について
議案第6号 新たに土地が生じたことの確認について
議案第7号 公有水面埋立てに伴う町の区域の変更について
議案第8号 高浜市特別職の職員で常勤のものの給料の月額の特例に関する条例の一部改正について
議案第9号 高浜市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
議案第10号 高浜市教育長の給料の月額の特例に関する条例の一部改正について
議案第11号 愛知県市町村職員退職手当組合格規約の変更について
議案第12号 高浜市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第13号 高浜市介護保険・介護予防の総合的な実施及び推進に関する条例の一部改正について
議案第14号 高浜市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第15号 高浜市やきものの里かわら美術館の設置及び管理に関する条例の一部
改正について

議案第16号 高浜市職員定数条例の一部改正について

日程第3 議案第25号 平成24年度高浜市一般会計予算

日程第4 議案第26号 平成24年度高浜市国民健康保険事業特別会計予算

議案第27号 平成24年度高浜市土地取得費特別会計予算

議案第28号 平成24年度高浜市公共下水道事業特別会計予算

議案第29号 平成24年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算

議案第30号 平成24年度高浜市介護保険特別会計予算

議案第31号 平成24年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

日程第5 議案第32号 平成24年度高浜市水道事業会計予算

日程第6 予算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

| | | | |
|-----|------|-----|--------|
| 1番 | 磯田義弘 | 2番 | 黒川美克 |
| 3番 | 柳沢英希 | 4番 | 浅岡保夫 |
| 5番 | 柴田耕一 | 6番 | 幸前信雄 |
| 7番 | 杉浦辰夫 | 8番 | 杉浦敏和 |
| 9番 | 北川広人 | 10番 | 鈴木勝彦 |
| 11番 | 鷲見宗重 | 12番 | 内藤とし子 |
| 13番 | 磯貝正隆 | 14番 | 内藤皓嗣 |
| 15番 | 小嶋克文 | 16番 | 小野田由紀子 |

欠席議員

なし

説明のため出席した者

| | | |
|------|----------|------|
| 市 | 長 | 吉岡初浩 |
| 副 | 市長 | 杉浦幸七 |
| 教 | 育長 | 岸上善徳 |
| 経営戦略 | グループリーダー | 深谷直弘 |
| 危機管理 | グループリーダー | 亀井勝彦 |
| 地域協働 | 部長 | 加藤元久 |
| 地域政策 | グループリーダー | 岡島正明 |

| | |
|----------------|---------|
| 財務評価グループリーダー | 竹 内 正 夫 |
| 市民総合窓口センター長 | 新 美 龍 二 |
| 市民窓口グループリーダー | 木 村 忠 好 |
| 市民生活グループリーダー | 芝 田 啓 二 |
| 税務グループリーダー | 森 野 隆 |
| 収納グループリーダー | 内 藤 克 己 |
| 福 祉 部 長 | 神 谷 美百合 |
| 地域福祉グループリーダー | 杉 浦 崇 臣 |
| 介護保険グループリーダー | 篠 田 彰 |
| 保健福祉グループリーダー | 加 藤 一 志 |
| 保健福祉グループ主幹 | 磯 村 和 志 |
| こども未来部長 | 神 谷 坂 敏 |
| こども育成グループリーダー | 大 岡 英 城 |
| 文化スポーツグループリーダー | 山 本 時 雄 |
| 都 市 政 策 部 長 | 小笠原 修 |
| 都市整備グループリーダー | 平 山 昌 秋 |
| 都市整備グループ主幹 | 杉 浦 嘉 彦 |
| 上下水道グループリーダー | 竹 内 定 |
| 地域産業グループリーダー | 神 谷 晴 之 |
| 行 政 管 理 部 長 | 大 竹 利 彰 |
| 人事グループリーダー | 鈴 木 信 之 |
| 人事グループ主幹 | 山 下 浩 二 |
| 行政契約グループリーダー | 内 田 徹 |
| 情報管理グループリーダー | 時 津 祐 介 |
| 会 計 管 理 者 | 橋 本 貞 二 |
| 学校経営グループリーダー | 中 村 孝 徳 |
| 学校経営グループ主幹 | 梅 田 稔 |
| 監査委員事務局長 | 鵜 殿 巖 |

職務のため出席した議会事務局職員

| | |
|-------------|---------|
| 議 会 事 務 局 長 | 松 井 敏 行 |
| 主 査 | 杉 浦 俊 彦 |

東日本大震災一周年追悼式

○議長（鈴木勝彦） 皆さん、おはようございます。

開会前にご参集いただき、誠にありがとうございました。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災により犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を表すべく、ここで黙祷を捧げたいと存じますので、皆様、ご起立をお願いいたします。

○議会事務局長（松井敏行） 黙祷、始め。

[黙 祷]

○議会事務局長（松井敏行） 黙祷を終わります。

○議長（鈴木勝彦） ありがとうございました。

本会議開会まで、しばらくお待ち願います。

議事の経過

○議長（鈴木勝彦） 改めまして、皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほどをお願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（鈴木勝彦） ただいまの出席議員は全員であります。

よって、これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

○議長（鈴木勝彦） 日程第1 議案第17号から議案第24号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただくようお願いいたします。

14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） 2点ほどお伺いします。

17号の一般会計補正予算ですけれども、75ページの民生費、生活保護費ですけれども、就労支援業務の委託料が220万円余り減額、そして生活保護費が3,300万円余り減額になっておりますけ

れども、この内容について、以前に就労支援ということで成果を上げているという話は聞いておりますけれども、具体的な成果についてお聞きしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、就労支援業務委託料の減額につきましては、当初予算では386万4,000円計上しておりました。ただ実際、指名競争入札を行った結果、落札金額が165万7,000円でしたので、今回、残の220万7,000円を減額させていただくものでございます。

それと生活保護費の3,300万円ほどの減についてですが、こちらにつきましては、本年度の4月から2月末までにかけて、生活保護受給者と生活保護の予備軍というんですか、そういった方で40人の方を就労につなげることができました。その中でも、今年度、国庫補助金のセーフティネット支援対策等事業費補助金を活用いたしまして、刈谷市に本社がある派遣会社から、就労活動等の知識に精通した方を派遣していただき、就労支援相談員として配置をいたしました。この就労支援相談員の方に40人のうちの25人の方を就労につなげていただくことができて、これが大幅な減少につながった大きな要因であると考えております。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） ありがとうございます。

40名の方というのは、40名のうちの25名の方が相談員によって就労につながったということですが、残りの15名の方というのは、どういう形、就労につながったのか、就労につながらなかったのか、その辺のことで、それから40名という就労の対象者というんですか、ほかにも見えるのか、40名のほかに就労できるのではないかなと思われる方が見えたのか、その辺の40名という人数についてお聞きしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、40名のうちの25名は、その就労支援相談員の方に就労につなげていただきまして、残りの15名の方については、生活保護のケースワーカーのほうですね、そちらのほうでいろいろと指導する中で、就労を何とかしていただいたというところであります。

ただあと、この就労支援相談員の方が実際に面談をした方というのは、全部で38名見えました。ですので、そのうちの25名が就労につながったわけですので、残りの13名の方は、何とか働けるのではないかという方であっても、ちょっと就労にはつながらなかったと、今のところつながっていないということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） 就労支援事業が非常に成果を上げているというふうに考えておりますけれども、この事業というのは、来年度も再来年度もつながっていくものなんでしょうか。たしか10分の10の補助金でやられていると思いますけれども、今後どうなるわけでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） 平成24年度につきましては、これまで、23年度は週3日勤務していただいていたのを、週4日勤務に拡充をいたして、さらなる成果を上げていきたいというふうに考えております。なお、25年度以降につきましては、24年度の成果を踏まえた上で、配置をするかどうかを決めていきたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） ありがとうございます。

就労につながるということは、御本人にとっても、また行政側にとっても非常にいいことだと思いますので、続けて成果を上げていただきたいと思っております。

それから、特別会計のほうの公共下水道の関係ですけれども、121ページの歳入のほうですけれども、国庫支出金の中の社会資本整備総合交付金が6,580万円減額で、下のほうに同じ項目で5,400万円、いわゆる増額といたしますか、上がっておりますけれども、この辺の関係がどういふふうになっているのかお聞きしたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 上下水道グループ。

○上下水道G（竹内 定） 下水道事業の国庫補助金の関係でございますけれども、当初予算策定時でございますけれども、この社会資本整備総合交付金ということで、下水道と対象となる事業が水の安全・安心基盤整備事業と市街地整備事業というふうに分かれておりました。これが当初予算作成時ですので昨年の話、一昨年のお話になりますけれども、それが国の方針で、この項目がなくなって統一されたということで、当初予算のものを減額させていただいて、新しく5,400万円を計上させていただいたということでございます。金額が6,580万円から5,400万円に減っておりますけれども、これは要望額に対して交付決定額のほうが減ってきたということでございます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） 同じ2分の1でも減ってきているというのは、ちょっとわかりにくいんですけども、その辺は何か単純な計算ではないということなんでしょうか。要望が同じ、要望されたということならわかりますけれども、その辺はどういうことでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 上下水道グループ。

○上下水道G（竹内 定） どういふふうで、国のほうがシーリングされて減らされているかということは、私のほうも定かではありませんけれども、1つ原因としては、東日本大震災、そういったものの復興費に充てられた、そういったもので減らされているということは聞いてはおります。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） それから歳出のほうで125ページですけれども、工事関係ですよ、これ

はほとんど減額が大きくなっておるんですけれども、この辺の要因はどんなことでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 上下水道グループ。

○上下水道G（竹内 定） 汚水施設建設事業、それから雨水施設建設事業ともに大きな減額ということでございますけれども、工事のほう、入札してかかっていたいておりますけれども、それで精算または精算見込み、こういったもので減額ということでございます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 14番、内藤皓嗣議員。

○14番（内藤皓嗣） 補正のほうが全体で1億5,000万円余が減額になっておると思いますけれども、減額になっても当初の計画どおりの事業は進められたということでよろしいのでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 上下水道グループ。

○上下水道G（竹内 定） 事業の量としては、当初予定していたとおり行っております。

以上です。

○14番（内藤皓嗣） ありがとうございます。

○議長（鈴木勝彦） 13番、磯貝正隆議員。

○13番（磯貝正隆） それでは、同じく議案第17号、補正予算書の76ページ、第7款の商工費、ここで商業振興費についてちょっとお伺いいたしますが、コミュニティビジネス創出・支援として64万4,000円減額となっております。この後の予算書の24年度の当初予算には、同じ項目の委託料が113万4,000円計上されております。そういった意味から、今回のこの委託料の減額の理由をひとつお教え願いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 経営戦略グループ。

○経営戦略G（深谷直弘） ただいまのコミュニティビジネスの質問でございますが、当初は195万円を委託料で計上させていただいております。1年間の間に、御案内のとおり講演会ですとかセミナーですとか、それから現地の視察、そういったものを委託で考えておりましたが、9月補正のほうで、生涯現役のまちづくり、その中で、いわゆる支え合い、助け合い事業という事業の中で、補助項目として見ていけないだろうかということで、その一部を組み替えをさせていただいております。この64万4,000円、その残でございますが、そのときには具体的にセミナーを進めていく上で、具体的なそういった個別の指導だとか、そういったものを専門家にやっていただくという考えでございましたが、やっていくうちに、やっぱりまだそこまで熟成していないだろうというような専門家からの御意見もいただきました。それから、例の市民会議の分科会等でも、まず認知度を上げてからだよというような御意見もあつたものですから、ここでこの分は減額をさせていただいて、来年また引き続き、少しやっていきたいということで思っております。

以上でございます。

○議長（鈴木勝彦） 13番、磯貝正隆議員。

○13番（磯貝正隆） ありがとうございます。

時期尚早ということ、認知度が低いということ、それに対する対応は、またしっかり当初予算、組んであるわけですから、お願いをしておきたいというふうに思います。ありがとうございました。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 議案17号、予算書及び説明書の53ページについてですけれども、性質別歳入に関して、国庫支出金が大きく減少しておりますが、これは説明の中で子ども手当の減額が大きいというふうな説明がありましたけれども、ほかに主な原因を教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 国庫支出金の子ども手当以外のものには、どういったものがあるかということですが、大きなものとしたしましては、障がいの関係で地域生活支援事業の補助金でありますとか、あとは生活保護費負担金の関係で2,400万円等が減額となっております。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ありがとうございます。

それらの事業に関して、数字が減るということは、見込みが違うのか、あるいは事業の内容が変わったのか、どういうふうな内容で減額されたのかを教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、生活保護費の負担金のほうですが、これにつきましては、先ほども申しましたとおり就労支援に頑張った結果、減額になったというところです。

もう一点、地域生活支援事業費補助金につきましては、当初事業費の、もともと国からは2分の1以内ということですので、2分の1で予算のほうを計上させていただきました。ただ、これも国のほうの予算の枠がございまして、全国の中での枠のパイが、今、やはり地域生活支援事業のほうも全国的に伸びておりまして、それで実際に内示額としていただいたのが、本来2分の1ですと50%なんですけど、実際には28%しかいただけないということで、今回、減額させていただいております。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ありがとうございます。

じゃ、同じく予算書の52ページをお願いします。

歳出のところ、2款総務費について、当初の予算に比べて約3億7,900万円ほど増加していると思いますけれども、その大きな要因を教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） ただいまの御質問の2款が当初予算に比べて3億円ほどふえてお

るということでございますけれども、これにつきましては、ちょっと今、手元に資料を持ち合わせておりませんので詳しいことは申し上げられませんが、9月だとか12月の補正のところ増額をさせていただいた部分の影響であるということでございます。今回は基本的には4,500万円ほどの減額ということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 済みません、じゃ、また後日教えていただきたいと思います。

それでは次に、同じく54ページでございます。

歳出の部分でお聞きします。財政改革を行う高浜市において人件費が減って物件費がふえるということは理解できるんですけども、今回、人件費がふえて物件費が減っているという原因を教えてください。

加えて、これは改革が後退しているのではないかと思われかねないかと思うんですが、その辺のところも教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） 人件費の増額につきましては、これは提案説明の中で申し上げましたとおり、早期に退職される方の共済組合に対する負担金、この部分が増額になったという部分が大きなものでございます。

それと、物件費の減につきましては、これはやはり事業を執行していく中で契約差金等、そういった不用額が出てまいりますので、そういった部分で減額になってきておるということでございますので、御理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） それに関連しまして、今回の補正予算のままでいくと、人件費は昨年よりも約6,900万円、物件費は過去5年間、大体約20億円から24億円の間で推移していたと思いますけれども、これが終わりますと約31億円になるかと思えます。昨年度に比べて7億2,000万円ほどふえると思うんですけども、その増加になる主な原因を教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 人事グループ。

○人事G（鈴木信之） 先ほど人件費の件で、共済組合、勸奨退職者に対する勸奨退職手当額と、それから普通退職手当額の差額を、補正予算書の67ページの共済組合費で組んでおりますけれども、1,797万4,000円の増額補正ですけれども、これが毎年毎年、年齢構成が最近、退職者がふえてまいりまして、そんなことでこの人件費が共済費で言えばふえてきているという傾向が強い、最近そんな傾向が強いということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 物件費が大きく伸びる見込みであるということにつきましては、今年度、総合住民情報システムの関係で、開発委託料ということで約9,000万円の増があったと

というようなことが1つ大きな要因として挙げられると思います。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 一番聞きたかったのは、この物件費の要は昨対7億2,000万円の増加ですね、要はどんな傾向があって金額が上がってしまったのかというような背景が知りたいんですけども。

○議長（鈴木勝彦） 地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） 物件費につきましては、先ほども担当のグループリーダーからも御説明させていただきましたけれども、その年度、その年度ごとに、臨時的な行政需要といったものもあって、一概にどういう要因でということではなくて、その年、その時々、いわゆる先ほどで申し上げますと新しい住民情報システムの更新が、たまたま23年度はそういった事業があったという中でのお話でございますので、一概に毎年、経常的にふえていくとかいうことだけで、ちょっと原因をというか、理由を申し上げるとするのは、なかなか難しいところがあるかなというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 17号の関係で2点ほどお聞きしたいと思います。

まず、補正予算書の81ページの教育活動支援事業についてですけれども、さきの16番議員の外国人支援等で取り組みは十分行っているということなんですけれども、こういった中でサポートティーチャーの賃金だとか、外国人早期適応指導員の賃金、約1,224万円が減額されておりますけれども、どういった理由でこのような大幅な減額をされておられるのか、理由をちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（梅田 稔） 今回の御質問の件でありますけれども、まず、サポートティーチャーの賃金のほうでありますけれども、このサポートティーチャーというのは、市で計画をしております少人数指導、これを実施するのに必要な教員数を雇用するために計画をしておるんですけれども、実際には、その計画の中の数名分は県の教員として配置をされます。したがって、計画よりも少ない予算で済むことがあります。今回12名、サポートティーチャーの配置を考えていたけれども、県の方から5名加配がされましたので、その分の減額となっております。

それから、外国人の早期適応指導員の賃金でありますけれども、こちらについても翼小学校で外国人の早期適応教室を開いておりますけれども、この「くすのき」を担当している教師の身分がえによって減額となっております。4月から6月の3か月間は市の非常勤として採用をしておりましたけれども、7月から県の臨時的任用として雇用しましたので、その後の金額分が減額というふうになっております。

○議長（鈴木勝彦） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。

それでは、これは県の補助金ではなくて、実際の賃金というのは、県のほうで3カ月以降は支払っていただいておりますということですね。来年もそのような予算で多分やっていただけるのか、一応1年分の予算が、また多分同じような金額になっておると思うんですけれども、つけていただいておりますと思いますけれども、そこら辺をもう少しお聞かせ願いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 学校経営グループ。

○学校経営G（梅田 稔） そうですね、県の職員としてということであります。来年度は、またこれはいつも県から来るのが遅くなりますので、当初はすべて市の非常勤として採用していきたいと考えております。

○議長（鈴木勝彦） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。

それでは続きまして、また議案第17号の88ページの繰越明許に関する調書の関係で、2款の総務費の1目の総務管理費、公共施設のあり方計画作成支援業務委託事業についてお聞きしたいと思っております。これもさきの一般質問の6番議員への答弁で、公共施設白書の作成におくれが生じておるという内容でお答えになっておるとは思いますけれども、この繰越明許費として予定されている、当初は800万円予定をされておったんですけれども、そのうちの229万8,000円を繰り越すということの内容等、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 経営戦略グループ。

○経営戦略G（深谷直弘） ただいま御質問いただきました、この公共施設のあり方計画作成支援業務委託の事業費でございますが、これは議員、今、おっしゃったとおり800万円、当初予定をしております、そのうちの約570万円でございますが、それは白書の作成を進めるという形で発注をいたしております。この間の一般質問の中で、今も御指摘がございましたが、白書の作成がおくれまして、その後、この白書の内容を分析、解析、そして検討項目の大包み、素案をつくるという業務をその後、発注をいたしております。これが2月に発注をいたしております、少し期間が必要だろうということで、これを繰り越しさせていただくということで、ここに書いてございます229万8,000円を繰り越しさせていただくものでございます。よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ということは、要するに800万円のうち2事業で分けて発注しておるといいますか、白書をつくる件と、それに基づいて検討をやるという事業、業務委託を、そこら辺ちょっとお聞きしたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 経営戦略グループ。

○経営戦略G（深谷直弘） おっしゃったとおりでございます。

○議長（鈴木勝彦） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 私も17号をお願いします。

65ページの警察無線基地局電気収入、雑入で電気収入、広告料収入、いろいろあるんですが、ここの内容の説明をお願いしたい。

それから、67ページの医師宿舎解体撤去及び整地工事費が載っていますが522万5,000円、これは減額で載っていますが、この医師宿舎の跡地はどのような計画があるのか、それについてお示しをお願いします。

○議長（鈴木勝彦） 行政契約グループ。

○行政契約G（内田 徹） まず1点目の電気料収入の件でございますが、これは中部管区警察局が警察無線を更新をされる際に、市役所に中継局を設置をするという申し出がございました。中継局の設置につきましては、公益上の必要ということで減免をいたしておりますが、電気代については実費ということで、これを受け入れるための補正でございます。

○議長（鈴木勝彦） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 医師宿舎の解体の撤去及び整地工事の跡地の利用方法なんですけど、まだ現在、壊して更地になっておるわけなんですけど、利用方法は検討中でございますので、別段何をやるかというふうには、まだ考えておりませんので、よろしくお願いいいたします。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 済みません、65ページ、この雑入、電気収入だけではなくて、ほかのも説明をお願いしたいということ。

それから、67ページの医師宿舎については、これは広さはどれぐらいあるのかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 行政契約グループ。

○行政契約G（内田 徹） 広告料収入の39万円について申し上げます。

これはまず1点目といたしまして、市役所の玄関の風よけ室のところに、市内の公共施設等の案内をさせていただくための案内図を設置いたしました。この設置につきましては、業者のほうで設置をいたしまして、そこに広告を掲載するというので、広告料収入として、まず37万8,000円を年間で増額をいたしております。あと、財源確保の一環といたしまして、公用車への広告の掲載ということにも取り組みをいたしまして、これが1台が2,000円の2台で、これの3カ月分ということで1万2,000円、合わせて39万円の増額をさせていただいております。

○議長（鈴木勝彦） 地域産業グループ。

○地域産業G（神谷晴之） 次の衣浦地域職業訓練センター管理公社精算金でございますけれども、平成23年3月31日をもちまして公社のほうを解散しております。それに伴います基本財産の残余金を、こちらのほうで受けたものでございます。

○議長（鈴木勝彦） 市民生活グループ。

○市民生活G（芝田啓二） 資源ごみの回収収益金でございますが、当初、月平均123万4,000円、年1,480万8,000円を計上しておりましたが、この23年度の3月補正の編成時におきます平均月額が約150万円ということで、年額1,800万円に増額をさせていただくというものでございます。よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 医師宿舎の跡地の面積なんですけど、1,200㎡でございます。

○議長（鈴木勝彦） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（木村忠好） 65ページの雑入の歳入の件ですが、一番下にあります後期高齢者医療広域連合受託事業収入、こちらにつきましては、後期高齢者の方の健康診査に係る、市が行ったものに対する事業の委託料としていただけるもので、実績見込みとして増額となるというふうに見込んでおります。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 65ページの市町村の振興協会基金交付金27万8,000円でございますが、これはいわゆるサマージャンボ宝くじの収益金をもって交付されるものとなりますが、販売が伸び悩み、配分総額が減少するというようなところで、交付額が確定したというところで増額をするものでございます。

それから、その下の市町村振興協会新宝くじ交付金14万5,000円の減額でございますが、こちらはいわゆるオータムジャンボ宝くじの収益金をもって交付されるものでございますが、こちら配分総額が確定して14万5,000円の減額となるということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） わかりました。

77ページ、お願いします。

地域医療振興事業の補助金、病院事業運営費補助金5,457万7,000円が計上されていますが、これはこの病院運営費の経営基盤強化対策費ということなのではないでしょうか。ちょっとここの説明をお願いしたい、まずそれをお願いします。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（磯村和志） 今回、補正させていただきます5,457万7,000円は、議員おっしゃられたとおり、医療法人豊田会に対する財政支援でありまして、内容といたしましては、経営基盤

強化対策事業のうち経常損失分に係る財政支援でございます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 経常損失の部分ということは、患者さんが何人来る予定であるというのを、3年前といたしますか、最初に話し合っていると思うんですが、それに対して何人だったという関係が出てくると思うんですが、それはどのようになっていますか。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（磯村和志） 実際に、今年度の当初予算を立てさせていただいた際に、医療法人豊田会のほうから見込みの収支決算をいただいております。その中で今回5,500万円弱の補正となった理由でございますけれども、まず1点目といたしまして、患者数が思うように伸びなかったということが挙げられます。豊田会は、当初、今年度の1日平均患者数を外来108人、入院97人と見込んでおりました。しかしながら、実績は外来が101人で7人の減、入院が95人で2人の減となりまして、こちらでおよそ3,000万円の収益減となっております。

それからもう一点、予算に比べまして人件費などの支出が伸びたことが挙げられます。昨年10月から、すべての病棟におきまして看護介護体制20対1の施設基準を取得いたしましたので、このため看護師及び介護士を増員をいたしております。ただし、人件費比率で見ますと、前年度から7%の減少となっております。また、病院の壁面、外壁のタイルが一部はがれ落ちましたものですから、壁面調査を実施し、傷んだ箇所の緊急修繕、こういったものも行っており、支出の部分が当初の予算に比べて2,500万円程度増加になった、以上2点が大きな原因でございます。

○議長（鈴木勝彦） よろしいですか。

○12番（内藤とし子） いいです。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第17号から議案第24号までの質疑を終結いたします。

これより討論に入るのでありますが、討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより採決いたします。

議案第17号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第7回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号 平成23年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号 平成23年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第20号 平成23年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第21号 平成23年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第22号 平成23年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第23号 平成23年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第24号 平成23年度高浜市水道事業会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（鈴木勝彦） 起立全員であります。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木勝彦） 日程第2 議案第1号から議案第16号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただきますようお願いいたします。

2番、黒川美克議員。

○2番（黒川美克） それでは、議案第16号 高浜市職員定数条例の一部改正について質問させていただきます。

これは1人、定数がふえるということでございますけれども、私、前の一般質問でもちょっと質問をさせていただきましたけれども、今度、部が機構改革されまして、人数がそれぞれ変わってくると思いますけれども、各部への配属の人数がわかっていたらお答えを願います。

○議長（鈴木勝彦） 人事グループ。

○人事G（鈴木信之） 職員の部への配置数ということでございますけれども、最初に、行政管理部と、それから地域協働部が再編をされまして、企画部と、それから総務部が設置されるわけでございますけれども、企画部につきましては23人、それから総務部につきましては19人、市民総合窓口センターにつきましては44人、それから福祉部につきましては37人、こども未来部が15人、それから都市政策部が36人でございます。教育委員会につきましては、この議案第9号のとおりでございます。

それから、前にも申し上げましたけれども、私ども、部に職員を配置いたしまして、部長がその権限でもって各グループへの配置を決めるということで御理解いただきたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） 2番、黒川美克議員。

○2番（黒川美克） わかりました。

ここでちょっとお願いをしておきたいと思っておりますけれども、都市政策部のほうにつきましては、非常に業務のほうもふえているということで、ぜひその辺のところも配置をするときに重点配置を考えて行っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 議案第5号 高浜市暴力団排除条例の制定についてお聞きいたします。

第4条に、市の責務とありますが、その中で、「暴力団の排除に関する施策を実施する責務を有する」とございますけれども、その施策に関して、具体的なものがわかったら御説明ください。

○議長（鈴木勝彦） 都市政策部長。

○都市政策部長（小笠原 修） ただいまの質問の暴力団の排除に関する施策でございますが、これはここに書いてある市の責務のほかには、青少年に対する指導等、暴力団の排除に関するさまざまな施策を言っております。

○議長（鈴木勝彦） 1 番、磯田義弘議員。

○1 番（磯田義弘） ありがとうございます。

じゃ、それに続きまして、第6条で、暴力団又は暴力団もしくはというふうに云々ありますけれども、この暴力団と密接な関係を有するものというふうな情報に関して、警察等との情報を共有できるか教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 都市政策部長。

○都市政策部長（小笠原 修） この情報共有でございますが、今回この暴力団排除条例のほうをお認めいただければ、この後、実は市のほうと警察のほうで合意書を結びまして、そういった情報を与えてもらうとか、そういった合意の上で進めていきますので、よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） 1 番、磯田義弘議員。

○1 番（磯田義弘） ありがとうございます。

その次に、7条で、当該公の施設が暴力団の云々とありますけれども、このことに関して、当市が指定管理者との契約があると思いますが、この指定管理者に対する教育といたしますか、指導といたしますか、そういうことに関して、お考えがありましたら。

○議長（鈴木勝彦） 都市整備グループ。

○都市整備G（杉浦嘉彦） 指定管理者のほうに、特に教育のほうをしていくということは、今のところ考えておりませんが、そういった暴力団の施設利用やなんか、おそれがある場合は、警察と市のほうと調整をいたしまして、施設の利用停止ですとか、利用許可を取り消すですとか、そういったことで対応していきたいと考えております。

○議長（鈴木勝彦） 1 番、磯田義弘議員。

○1 番（磯田義弘） そうしますと、この条例に関する窓口が市であるのか、あるいは指定管理者であるのか、どちらであると考えればよろしいですか。

○議長（鈴木勝彦） 都市整備グループ。

○都市整備G（杉浦嘉彦） 当然、条例の中でもうたっているんですけども、指定管理者さんのほうの窓口のほうで、当然、申請をされた方が暴力団かどうかというのがわかればいいんですけども、なかなか、やはり姿、形だけではわからないですので、どうしてもやはり警察からの情報をもとに、先ほど申し上げたように取り消しですとか利用停止のほうになっていきますので、やはり市と警察のほうで進めていくことになるかと考えております。

○議長（鈴木勝彦） 1 番、磯田義弘議員。

○1 番（磯田義弘） ありがとうございます。

じゃ、最後に、過去に本市において暴力団絡みの事故、事件が起きたかどうか、ありましたら教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 都市政策部長。

○都市政策部長（小笠原 修） 私の知る限りではございません。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第1号から議案第16号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第1号から議案第16号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

○議長（鈴木勝彦） 日程第3 議案第25号 平成24年度高浜市一般会計予算を議題として、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） 私のほうは予算全般的な部分でお聞きをしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

まず今回、平成24年度の予算編成に当たっては、1件査定を取り入れてのものであるというふうに聞いておりますけれども、この1件査定を取り入れた考え方あるいはねらい、23年度は1件査定ということではなくて枠配分ということで行われたというふうにも聞いておりますので、そのところをまずお聞かせいただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） 平成24年度の当初予算編成に当たりまして、私ども予算編成方針の中で、将来を見据えた安定的で持続可能な財政基盤の構築を図るということ、それと計画的で効率的かつ健全な財政運営に努めるということを踏まえまして、全事業の内容を精査・点検をするという1件査定を実施することというふうに掲げさせていただきました。

このねらいといたしましては、1つには、平成22、23年度に実施をいたしました事業仕分けにおきまして考え方が示されておりますけれども、事務事業のそもそものあり方、あるいは無駄の排除、それから事業の再構築、こういった視点に立って、事業の内容を精査・点検するということ。

それともう一点は、今回、中期財政計画を遵守する中で、限られた財源を有効に活用するためには、事業の緊急度、優先度、こういったものを踏まえて、選択と集中によってメリ張りのある予算編成を行うという観点から、1件査定という形をとらせていただいたということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） わかりました。中期財政計画にのっとりた形での今回の編成ということは、十分に御理解をさせていただきたいと思います。

それでは、これも予算全般的な部分なんですけれども、予算というのは、要は款・項・目に分かれておって、非常に予算書のみを見てはわかりにくいところがあります。市長の施政方針、伺わせていただきましたけれども、特に重点を置いた予算配分というものがされていると思いますけれども、そこについては、どのような分野になっておるのか、そのところをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） 平成24年度の当初予算編成に当たりましては、施政方針の中でも、先ほどおっしゃられたとおり、市長の考え方として、自治基本条例と第6次総合計画を両輪として、防災を初めとする重点施策に加えまして、教育と生涯学習の2つの基本構想が策定されたことを受けまして、平成24年度は健康、子供を軸に施策の展開を図るということで、安全・安心、健康、子供の3つの分野に特に重点を置いた、高浜市の未来をつくる予算という位置づけで編成に当たってきたということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） 市長の方針にのっとりた形で安全・安心、健康、子供の3本の柱が重点的にということで伺いましたが、それでは、1つずつ恐縮なんですけれども、それぞれの分野について具体的な重点施策の内容をピックアップしてお聞かせいただきたいと思います。また、予算委員会はございますので金額ベースは要らないです。どういう部分ということだけでお示しいただければと思います。

まず、安全・安心の分野についていかがでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） それでは、安全・安心の分野につきまして御説明をさせていただきます。

防災、それから活動事業といたしまして、災害から市民の安全・安心を確保するため、新たに同報系防災行政無線設備等を整備をしていきます。また、地域防災ネットワークの構築に向けて、市民の皆様とともに検討を進めて、安全・安心が実感できる基盤づくりを推進をしてまいります。

また、市道の新設改良事業といたしまして、市道港線の整備を進めるとともに、人形小路整備事業を実施していくこととしております。

ほかといたしましては、継続事業となりますが、防犯灯の施設整備ということで、市内の防犯灯のLED灯への交換、そういったことを安全・安心の分野では重点的に行っていくということでございます。

以上でございます。

○議長（鈴木勝彦） 9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） それでは続けて、健康の分野では、どのような具体的な重点施策がございましたでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 健康分野につきましては、生涯現役のまちづくり創出事業、それから介護予防リハビリテーション調査事業、高齢化が進展する中、年をとっても人生の主役として現役で生きていこうと、生きがいを失わず人生を謳歌しながら、その人らしく生き生きと生きられる生涯現役のまちづくりの創出を目指していくということ。

それから、介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業といたしまして、高浜市民のみが利用できる地域密着型の小規模特養の養護老人ホームの整備に補助をしております。

また、子ども医療事業、これは引き続きになりますが、中学校の卒業までの子供の医療費の無料化を図っております。

その他といたしましては、いきいき健康マイレージ事業や衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づく地域医療連携ネットワークの構築などを進めてまいります。

○議長（鈴木勝彦） 9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） それでは最後に、3番目の子供の分野では、いかがな重点施策でございましたでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 子供の分野でございます。家庭的保育推進事業といたしまして、保育サービスの充実、待機児童の解消を図るため、いきいき広場の3階に、新たに家庭的保育を1カ所開設をしております。

それから、子供発達応援事業といたしまして、子供発達センターに、新たに発達専門相談員を配置をして、小・中学校の児童・生徒に係る相談体制の充実を図っております。

そのほかには、教育センターの設置ということで、教育基本構想に基づくアクションプランの進行管理を行うため、専任の職員を教育センターグループを設置して1名を配置をしていくということ、それからこども・若者成長応援事業では、タカハマ物語の制作の関係で、24年度につきましては、タカハマ物語フェスタということで、コンサートを開催するという予定でございます。

それから、たかはま夢・未来塾事業といたしましては、たかはま夢・未来塾の活動を通して人材育成を図って、将来に向けての職業選択等のきっかけづくりを行っております。

以上でございます。

○議長（鈴木勝彦） 9番、北川広人議員。

○9番（北川広人） ありがとうございます。

24年度の予算、これは市長の施政方針にございましたように、第6次総合計画、そしてまた中期財政計画をしっかりと踏まえた中で、アクションプランが遂行されるような形で、特にどこに力を入れて高浜市を運営しようとしているのかということがわかりやすくということで御質問をさせていただきました。ありがとうございました。

○議長（鈴木勝彦） 質疑の途中ですが、暫時休憩いたします。再開は11時10分。

午前10時59分休憩

午前11時10分再開

○議長（鈴木勝彦） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案第25号の質疑に入ります。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 歳入の61ページ、1款2項1目固定資産税の土地の部分ですけれども、課税標準額が1,160億云々と、63ページの都市計画税1,513億と比べると、都市計画税のほうの課税標準が高いんですけれども、これはどういう理由でこういうふうになっているのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） 固定資産税と都市計画税の課税標準の違いということでございますが、都市計画税につきましては、議員も御承知のように、都市計画区域のうちの市街化区域内のみを適用課税をしておるものでございますので、固定資産税とは課税標準額は差異が出ておるということでございます。都市計画税のほうは課税標準額が高いじゃないかと、土地のほうですね、ということでございますが、土地につきましては、住宅用地につきましては適用される特例率というものがございます、固定資産税と都市計画税は異なるということで、先ほど言いました特例率が違うと。具体的にいいますと、固定資産税のほうは6分の1の特例が住宅用地についてはあると。都市計画税のほうは3分の1と、そういった特例率が違いますので、都市計画税のほうは固定よりかは標準額が高くなるということでございますので、よろしくお願ひします。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） よくわかりました。都市計画税についてですけれども、弥富市と愛西市は徴収していないことがわかっていますけれども、高浜市も課税している地域と課税していない地域が、先ほどの答弁であると思うんですけれども、どういった理由で、計画されない地域があるんですか、どういうことでしょうか、これは。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） 都市計画税につきましては、御承知のとおり都市計画事業の費用に充てるものでございます。例えば下水道事業だとか、それからそういった都市施設の設備整備を実施

していくための都市計画税でございまして、高浜市の状況では、今現在、まさに進めておるとい
う状況でございますので、都市計画税を課税をさせていただいておるとい状況でございます。

他市で課税をされていない、全国でもあるわけでございますが、それは都市整備、都市計画事
業に充てるものがないと、こういうことで御理解を賜りたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 大体わかりました。

次に、193ページ、8款土木費、6項公営住宅の使用料及び賃借料ですけれども、これは6,810
万8,000円、69ページに12款1項使用料、土木使用料、住宅使用料の借上住宅の現年度分とい
うことで3,423万円、差し引きで3,400万円ほど赤字になるんですけれども、どのように解決するの
か、どういう考えをお持ちなのかお聞かせください。

○議長（鈴木勝彦） 市民生活グループ。

○市民生活G（芝田啓二） まずは8款のほうの193ページの借上料でございますが、議員、お
っしゃられたとおり6,810万8,000円、歳入見込みのほうは3,423万5,000円ということで、3,380
万ほどの持ち出しということで計上させていただいております。以前の予算、決算等でも御報告
しておりますが、借り上げの入居率、現在40%ということで、昨年同月も40%ということで、今、
下げどまりの一生懸命踏ん張っているというところでございます。この加入率を上げていくため
に、今年度いろいろ取り組みをしております。決算特別委員会でも申しましたが、センター長と
私どもが市内の事業所を見回ってPR活動をしております。その後も一昨日、高浜高校のほうに、
県教諭の異動等もあるということで、こういった借上住宅ということを御要望でありましたら、
ぜひともPRしていただきたいというような形でPRをしております。今後もいろんな活動を通
じて、1件でも多くの御加入をいただけるように努力してまいりますので、よろしくお願いた
します。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 私ども、ちょっと家賃を下げてということも考えたらいかがかなというふ
うに思いますけれども、いかがでしょうか、そういう考えはありませんか。

○議長（鈴木勝彦） 市民生活グループ。

○市民生活G（芝田啓二） これも以前からの繰り返しの答弁になりますけれども、私どもだけ
で下げるといこともありますけれども、検討の中で。やはりオーナー様の御意向というのも、
これは非常に強いことでございます。私どももいろいろと御要望いただいておりますので、機会
あるごとに、オーナー様のほうに家賃の下げはどうでしょうかということをお願いはしておるん
ですけれども、やはりオーナー様のほうの資金繰りというか、返済計画もありまして、ここの部
分については芳しい御返事をいただけていないというのが現状でございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） また、疑問がわいてきたんですけれども、家賃というのは、そのままそっくりオーナーさんに渡すものなのか、一たん借り上げてというか、そういう形になるんですかね、ちょっとわかりませんが。

○議長（鈴木勝彦） 市民生活グループ。

○市民生活G（芝田啓二） この借上公共賃貸住宅につきましては、オーナー様から20年の一括借り上げということで、家賃もすべて丸々お支払いをさせていただいておるのが現状でございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 20年というふうに聞きましたけれども、あとどれくらいで期限が来るのかお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 市民生活グループ。

○市民生活G（芝田啓二） まず、借上公共賃貸住宅は6棟ございます、6住宅というんですか。一番早いものが平成24年度をもって20年は到達いたします。ですから、来年20年を迎えると。一番最後のものが平成28年度、これが一番最後のものになります。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） では、大体わかりました。

次に、125ページ、2款総務費、8項基金費の25節まちづくりパートナーズ基金積立金は、何のために積み立てて、何のために使うのかお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） まちづくりパートナーズ基金と申しますのは、やはり市民の皆様との協働によるまちづくりということを推し進めるために、平成17年4月に創設したもので、これまで個人市民税の5%を積み立てるという形で今、運用をしております。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 使う当てがあるのかということが、全然わからないんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） パートナーズ基金の中では、市民予算枠事業という事業と、地域のほうへ市の事業を移譲するというような地域内分権推進型の事業と、市民自治力推進事業といたしまして、シンポジウム等々、市民の自治力を高めるような事業に使っていくということでございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） じゃ、次へいきます。

157ページ、3款民生費、生活保護費、扶助費の生活保護費3億7,038万7,000円ですけれども、23年度より減っているのはなぜなのかお答えください。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） 23年度につきましては、本日の補正予算のときにも御答弁させていただきましたが、就労支援等に精力的に取り組んだ結果、かなり生活保護の受給世帯、受給人数も減ってまいりました。その影響もあって、24年度につきましては、23年度よりも減額をしております。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） わかりました。

次ですけれども、163ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、3目医療対策推進費、19節の負担金補助及び交付金の2の地域医療振興事業補助金、病院事業運営費補助金で2億4,310万円、高浜分院のための補助金だと思いますけれども、内訳をちょっと教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（磯村和志） 当初予算2億4,310万円の内訳でございますが、まず医療法人豊田会に対します経営基盤強化対策事業といたしまして、経常損失分に充てる部分が1億5,000万円、リフレッシュ工事に伴います減価償却相当額、こちらが2,000万円、地域医療救急医療振興事業ということで、これは医療法人豊田会、ある意味、本院に対しての補助でございますが、こちらが4,310万円、さらに高度医療機器等補助事業ということで3,000万円、合計2億4,310万円でございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 先ほどの補正予算の中で、患者が減っているというふうに聞いていますけれども、1億5,000万円で大丈夫なんでしょうか、ちょっとお伺いしたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（磯村和志） 豊田会のいわゆる運営費補助、赤字補てんにつきましては、協定書上、原則3年間は経常損失分を限度として補てんをさせていただくというお約束になっておりました。原則といたしましたのは、移譲後4年目以降であっても、収支が改善しない場合は、協議によって補助額を決定するというので、次年度につきましては、現段階で豊田会の見込みが2億5,500万円の赤字が出るだろうと見込んでおります。そのような中で、私ども豊田会と協力をして、10年以上、地域の医療を支えなければならないという大前提がございますので、その中で協議をさせていただきまして、この赤字補てんにつきましては1億5,000万円を上限として補助させていただくと決めさせていただいたものでございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 大変よくわかりました。

次に、185ページ、8款土木費、2項道路橋りょう費、生活道路新設改良費の市道新設改良事業、主要・新規事業等の概要の13ページにもありますけれども、この用地交渉を行うとしていま

すが、何件ぐらいを予定していますか。

○議長（鈴木勝彦） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 用地交渉の件数におきましては3件を考えております。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） この関連ですけれども、182ページ、財源の内訳で地方債1億1,200万円のうち8,500万円は、この市道港線になっていますけれども、あと2,700万円はどの事業で使うのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 社会資本整備交付金の中の基幹事業というものが1つありまして、それが市道港線、もう一個、提案というものがありまして、その中にLEDの10Wの今の防犯灯をかえるというものがありますので、そちらのほうの防犯灯の交付金をいただいているものでございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） ありがとうございます。

次に、主要・新規事業等概要の3ページですけれども、無線設備工事費として1億27万5,000円ですけれども、これは何基、同報無線をつけるのか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 危機管理グループ。

○危機管理G（亀井勝彦） 同報無線につきましては、一応、現時点では市内25カ所を予定しておりますが、今後、電波調査等を行いまして、箇所数につきましては、スピーカーの数を修正させていただくことが想定されますが、現時点では25カ所を予定しております。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） ありがとうございます。

主要・新規事業等の17ページで、タカハマ物語制作補助ということで340万円計上されています。23年度の補正予算で500万円計上され、総額で一体幾らになるのか、840万円の理解でよろしいのか、お聞かせください。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（山本時雄） お見込みのとおりでございます。撮影費等々の補助の費用といたしまして、合計で840万円という形になります。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） ありがとうございます。

補助ということですので、制作費の総額になるのかどうなのか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（山本時雄） 私どものほうでお金のほうを支出してございます内容というのは、いわゆる制作費、そういったものに関する費用のほうをお出しをさせていただいております。今回、ドラマ制作費補助金というような名称になっておるのは、平成23年度は子育て創生事業のほうの補助金のほうを使って出しておったんですけれども、それが24年度ではないという内容になってございます。それがこちらのほうもいろいろと県等、折衝していく中で、別の補助金を使わせていただくということで、そちらのほうは市町村が実施主体ではなく、関係団体、私どもで言っていますのは、きずな実行委員会なんですけれども、そちらのほうからの申請という形になりますので、そういった全体事業の流れの関係の中から、補助という形で平成24年度では支出をさせていただくということでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 125ページの総務費の基金費の財政調整基金の利息の積み立てということではちょっとお聞きしたいんですけれども、財政上、厳しいとは思いますが、昨年と比べて9分の1ほどの利息になっておるということで、基金を以前、税収の約1割ぐらいを目標という答弁をされておるんですけれども、実際、今は昨年末で5億7,000万円ほどですか、そういった形で、やっぱりあくまでも今から公共施設だとか、そういった整備やなんかを進めていかにかい場合、例えば延命やなんかの修繕やなんかを行った場合、大規模な修繕費やなんかがかさんでくるということで、ある程度、中期、長期の目的を持った税収というのか、税の計画を一応立てておっていただきたいというふうに思うんですけれども、そこら辺、どういうふうにお考えかお答え願いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 議員、おっしゃるとおり、財政調整基金の必要性、将来の財源不足に対応したり、大規模な災害が発生した場合、そういったときに必要な基金であるというところで、枯渇してしまつては、財政運営に影響が生じるというふうに言わざるを得ません。

市税等の収入の見込み等につきましては、中期財政計画のほうでお示しをしている数字以外は、現在のところは持ち合わせてはおりませんが、この基金につきましては、中期財政計画上は25年度末で400万円程度になるというふうに示させていただいておりますが、ここにはいわゆる繰越金等は含まれておりませんので、ここが最低限であろうというふうに判断をしているところでございます。

したがいまして、中期財政計画をしっかりと遵守した上で、財政調整基金の取り崩し等も精査をしていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 予算の全体のことについてお聞きします。

第6次高浜市総合計画の基本目標の1の多分2だったと思いますけれども、財政のことに関しまして、2013年までに、将来負担率をゼロにするというふうな目標があると思いますけれども、それをゼロにするためには、2013年までに金額的に幾ら財政改革努力をしなければいけないかということをお教えください。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 総合計画で掲げております将来負担率のゼロという数値についてでございますが、25年度の歳出、歳入といったところでは、中期財政計画における数値しかございませんが、これで算定をすれば、基金をしっかりと持たなければ、この率はゼロにはならないというふうに認識をしておるところでございます。

額といたしましては、4億円から5億円が想定されるんですが、ただ、ここには前年度からの繰越金、その繰越金を財政調整基金に積むといった考え方が加味されておられませんので、これよりは低くなるのかなというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） そうしますと、2013年の目標の達成という可能性というのは、どのようにお考えなのか。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 可能性でございますが、現段階で申し上げますと、ゼロには近くはなるというふうには思っておりますが、ゼロはなかなか難しい、厳しいのかなというふうに判断しているところでございます。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） 22年度末の将来負担額が、約9億5,000万円ぐらい、ですから3期でこれを解消するということを考えると、今までの改革のペースでいくと、できるんじゃないかなというふうな感じもいたしますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

2番目に、24年度予算書及び説明書の83ページ、歳入の17款1項1目基金繰入金に関してお伺いします。

先ほど柴田議員も質問されましたので重複するかもしれませんが、この基金繰入金、本年に比べるとかなり苦勞してつくられたと思いますけれども、予算組みのときの考え方を、わかれば教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 予算組みの考え方ということでございますが、歳入につきましては、担当グループにおきまして、これまで以上に最新の状況、それから今後の経済、それから景気の動向を踏まえて、適切な適正な見込みをしていただいたということになります。

歳出のほうでは、公債費の減というようなところで、必然的に減少する部分というものもございしますが、平成24年度の当初予算編成では、各グループにおける所管事業の優先順位づけ、全事業の内容を精査、再点検をする1件査定の実施、そして安心・安全、健康、子供といった分野への重点化などにより、めり張りのある予算編成に全庁が一体となって取り組んだ結果、歳入歳出の乖離の圧縮につながり、財調の繰り入れが減ったというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ありがとうございます。

その中でも、特にこんなところは苦労したよというようなところがありましたら、教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 財務評価グループ。

○財務評価G（竹内正夫） 具体的な例ということでございますが、やはり選択と集中というような観点からは、どうしても事業を先送りにするとかいったこと、それから事業の見直し等々、していただいた部分があるということでございますので、事業を先送りにするといった部分では、担当グループが非常に苦労されたというふうに思っております。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ありがとうございます。ぜひ、2013年の先ほどの目標に向かって頑張っていただきたいと思います。

じゃ、最後に、同じく87ページ、歳入の19款4項9節でございますが、リバースモーゲージ貸付金利子の枠取りがされていると思いますが、この制度、東京都の武蔵野市から始まった制度と承知しております。本市の過去の実績を教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） この制度、リバースモーゲージ制度、平成13年4月から始めておりますが、利用者はまだ1件もありません。

○議長（鈴木勝彦） 1番、磯田義弘議員。

○1番（磯田義弘） ゼロという回答でございましたけれども、このリバースモーゲージという制度、大変すばらしい制度だと思います。

そこで、あえて質問をさせていただきます。私はリバースモーゲージについて、ある意味、セーフティネットでいいと考えております。ですから、ことし第5次介護保険制度が始まろうとしている今、このリバースモーゲージをセーフティネットとして皆さんに忘れられないようにPR、あるいはどのように周知していくかという考えがございましたら教えてください。

○議長（鈴木勝彦） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 議員、今おっしゃられたとおり、この制度、制度を利用される方があることが当然重要ですが、制度そのものがあること自体が私どもも重要であるというふうに思

っております。こうしたPRのほうは、特にセーフティネットでありますので進めていきますが、同じく同様の制度で、県の社会福祉協議会のほうが同様の制度を設けましたので、あわせて、こちらのほうも高浜市と同様に皆さんにPRしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これにて議案第25号の質疑を終結いたします。

○議長（鈴木勝彦） 日程第4 議案第26号から議案第31号までを、会議規則第34条の規定により一括議題として、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりまして、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 素朴な疑問で失礼します。

257ページ、1款1項1目一般被保険者国民健康保険税の徴収率が23年度当初予算では88%になっていますけれども、24年度の予算、今予算では86%になっていますが、なぜ、こういう数字を示されたのか、お答えください。

○議長（鈴木勝彦） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（木村忠好） ただいまの国民健康保険の歳入の現年度分が88%から86%になるという見込みの御質問でございますが、こちらにつきましては、平成23年度の実績見込み、これが86%になるだろうという見込みを立てまして、そのもとに今回、24年度の当初予算もそれと同様になるだろうという見込みを立てております。

平成23年度徴収率のほうの方が下がる見込みだということでございますが、この大きな要因といたしましては、昨今のリーマンショック以来の景気の低迷、及び東日本大震災の影響による景気の低迷、こういったものが要因になっておろうかというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これにて議案第26号から議案第31号までの質疑を終結いたします。

○議長（鈴木勝彦） 日程第5 議案第32号 平成24年度高浜市水道事業会計予算を議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただきますようお願いいたします。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 質疑もないようですので、これにて議案第32号の質疑を終結いたします。

○議長（鈴木勝彦） 日程第6 予算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

議案第25号から議案第32号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により8名の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、議案第25号から議案第32号までについては、予算特別委員会を設置し、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第7条第1項の規定により、黒川美克議員、浅岡保夫議員、幸前信雄議員、杉浦敏和議員、内藤とし子議員、内藤皓嗣議員、小野田由紀子議員、私、鈴木勝彦、以上8名を指名したいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました8名の議員を予算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

○議長（鈴木勝彦） 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

常任委員会及び予算特別委員会の開催により、3月10日から25日までを休会といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、3月10日から25日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、3月26日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。御協力ありがとうございました。

午前11時45分散会
